What's New?



図書館に新して入った本もご紹介します!



八束 澄子/作 ポプラ社





『ホロヴィッツホラー』

アンソニー・ホロヴィッツ/作 田中 奈津子/訳 講談社 イギリスのミステリの名手による、9つのホラー短編集。リアルな描写から感じるゾワゾワ感をお楽しみください。

『モチベも点数もめきめきアップ! 中学生のおうちノート術』 みおりん/著 実務教育出版

ノートのまとめ方、困っていませんか?この本では、勉強することが 楽しくなる、「おうちノート」の作り方を紹介しています。



『科学はこのままでいいのかな 進歩?いえ進化でしょ』

(ちくまQブックス) 中村 桂子/著 筑摩書房

「科学」で生活は便利になったけれど、それだけでいいのかな? 「進化」から、私たちの新しい未来のかたちを考える 1 冊です。

『世界と日本の鉄道史』(まなびのずかん)

川辺 謙一/著 技術評論社

蒸気機関車が誕生するよりもっと昔、車輪の発明から始まった、鉄道の歴史を紹介しています。日本の鉄道開業150年のこの機会にぜひ読んでみてくださいね。



र जिल्ला

◆ヤングアダルトとは、12~18歳くらいのみなさんのことです。 ◆本の表紙掲載については出版社の許諾を得ています。

長岡市立地域図書館(7館)

- ■互尊文庫 TEL35-7981
- ■西地域図書館 TEL27-4900
- ■南地域図書館 TEL30-350 I
- ■北地域図書館 TEL22-7100
- ■中之島地域図書館 TEL61-2165
- 寺泊地域図書館 TEL75-5|59
- ■栃尾地域図書館 TEL53-3005
 - ⊕お問い合わせは北地域図書館へ

〒940-0876 長岡市新保町 | 1399-3 mail:lib.kita@nscs-net.ne.jp 図書館ホームページ https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

編集・発行/指定管理者 株式会社図書館流通センター(TRC)



『いちご×ロック』 黒川 裕子/著 講談社

表紙のメガネの子の表情に惹かれて手に取った1冊です。

主人公・海野苺は受験失敗や失恋、父の起こした事件で最悪の気分。そんな時、河川敷でエアバンド「江戸川ラ・ボエーム」に出会います。いつの間にか江戸ボエでエアギターを担当することになった苺。くすぶっていた苺が一癖も二癖もある仲間達と出会い、エアギターで感情を爆発させていく姿はまさにロック!終わりまでノンストップでジャカジャカにぎやかなロックが鳴り続けます。読み終えた後に再度目にする表紙からは、ギターの爆音が聞こえる気がします。



『天使は奇跡を希う』 七月 隆文/著 文藝春秋

高校生の新海良史は、天使の 翼を持つ謎の転校生、星月優花 を天国に帰すために協力するこ とになる。次第に惹かれあう二 人だが、彼女には誰にも言えな い秘密と真の目的があった。

表紙を見たとき、羽が生えた女の子のイラストに強く惹きつけられました。そして、なぜ羽が生えているのか、その秘密と真の目的を知ったとき、きっとあなたもその奇跡を希(こいねが)わずにはいられなくなります。



『ももこの 21 世紀日記 N'O1』 さくら ももこ/著 幻冬舎

日常の何気ない出来事をおもしろ おかしく切り取ったエッセイ。著者の ゆかいな家族が繰り広げる日常は、ど こから読んでも抱腹絶倒間違いなし です。海外へ取材に行ったり、家族を 巻き込んで健康にこだわったり、色々

な出来事が綴られています。表紙のデザインやイラストの カラフルで肩の力が抜けてリラックス出来るような仕上が りに惹かれました。さくらももこワールドにぜひ、どっぷり と浸ってみてください。



『チョコレートコスモス』 恩田 陸/著 毎日新聞社

花の名前のタイトルと、ドクロやちぎれた指など不気味に見えるものが描かれている表紙。それらが意味するものは何か、一体どんな物語なのか、想像をかきたてられます。500ページを超える長編ですが、その世

界にぐんぐん引き込まれ、あっという間に読み終わります。 本を閉じるときにはタイトルと表紙が表現するものが見え てくるかもしれません。(チョコレートコスモス: キク科コス モス属の多年草。チョコレートのような甘い香りがする)



トテーマ ジャケ読み/





『か「」く「」し「」ご「」と「』 住野 よる/著 新潮社

誰もが「かくしごと」をしている。 5人の高校生は秘密の特別な能力を 持っていた。例えば、1章の主人公の 京は、人の頭上に「!、?、句読点」 が見え、人の気持ちがわかる能力があ ります。それぞれの気持ちと能力が複

雑に絡み合う少し不思議な青春小説です。表紙にはキラキラ した矢印や数字などの記号がちりばめられていてとても綺麗 です。そして記号は物語のキーポイントにもなっています。 ぜひこれらに注目して読んでみてください。



『ちいさなちいさな王様』

アクセル・ハッケ/著 ミヒャエル・ゾーヴァ/絵 那須田 淳、木本 栄/訳 講談社

ある日、ふらりと「僕」の部屋に 現れた人差し指サイズの小さな王 様。歳を重ねるにつれ、だんだんと 体が小さくなっていく世界で生きて いる王様から語られる言葉の一つ

一つが、「大人になるって、成長するってなんだろう」と様々なことに気づかせてくれます。そんな不思議な物語に呼応するかのような、小さくても大きな存在感を放つ王様の表紙は、まるで1枚の崇高な絵画をみているようです。



『ソノリティ はじまりのうた』 佐藤 いつ子/著 KADOKAWA

吹奏楽部というだけで、合唱コンクールの指揮者を任された早紀。最初はクラスをまとめられず落ち込みますが、幼馴染の音心に支えられ、徐々にみんなと打ち解けていきます。しかし、本番直前に思わぬアクシデント

が起こり…!?それぞれの悩みや葛藤を抱える中学生達が、同じ目標に向かい成長する物語です。淡く柔らかい色使いで、今にもメロディーが聞こえてきそうな爽やかな表紙が素敵です。ぜひ手に取ってみてください。